

羊を活用した中山間地域の活性化に取り組んでいます

石川農林総合事務所

当事務所では、中山間地域の活性化対策として、洋食事業者からの引き合いが強く、体が小さく管理が容易な羊に着目しました。

平成26年度から、県立大学と連携し白山市木滑地区の耕作放棄地を活用した、羊の放牧を実施しており、試行錯誤を繰り返しながら餌やりの方法、病気の対策など、放牧管理のマニュアルを作成しました。

また、肉を評価してもらうため、イタリア料理店など県内のレストランに協力いただき、食材の試食会を開催しました。和・洋・中のシェフからは「美味しかった」、「頭数を増やしてほしい」、「地元白山の豊かな自然で育てられた羊を安定供給してほしい」など、評価が高く、羊肉需要の確かな手応えを感じました。加えて、羊は羊毛の活用や景観放牧として里山の魅力向上にも貢献しうる資源だと考えております。

今後も引き続き、当該地での産地化を支援するとともに、他地域へも取組を拡大し、石川県の新たな特産物として大切に育てたいと考えています。



放牧地での羊の見学



現地検討会で説明する県立大学石田教授



木滑里山イベントでのフェルト教室



レストランでの羊肉評価会

問い合わせ先：石川農林総合事務所 農業振興部
(076-276-0371)